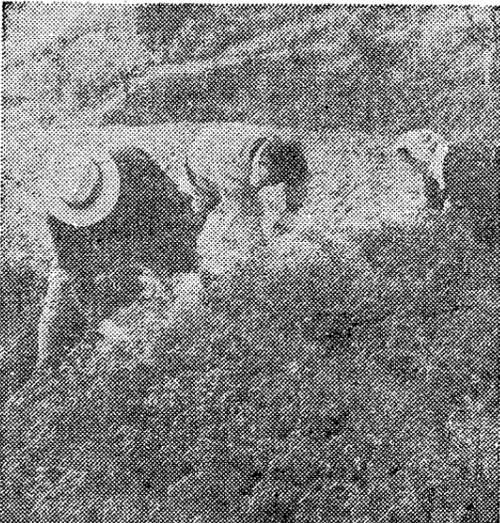


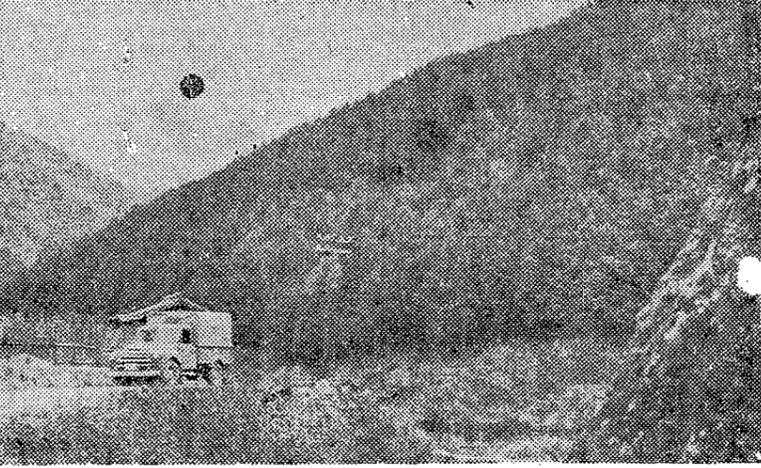
今年も植えよう12000町歩
緑化運動はじまる



【写真上】三月の声を聞くと、全県下の山々で植林が始まる。冬の間地持えのすっかり済んだ植林地へ、家族総出で駆け付けに行くが、スギ、ヒノキ、マツなど1町歩に3000本—3500本くらいうるのが普通だ。—西牟婁郡生馬村で写す。



【写真上、右】植林用の苗木は県下各地の苗圃で養成され、植林地へ送られる。年間所要量は四万本をこえ、スギ、ヒノキ、マツの苗木は、県内で完全な自給を達成している。



【写真右】植林から始まって下刈、枝打、整頓、除伐など、長い年月のたゆまぬ努力で、この最初の年に植えつけた苗木は、もうなにより豊かな美林ができた。—ここに立派な植林が成った。



快速調の造林
さらに六カ年計画

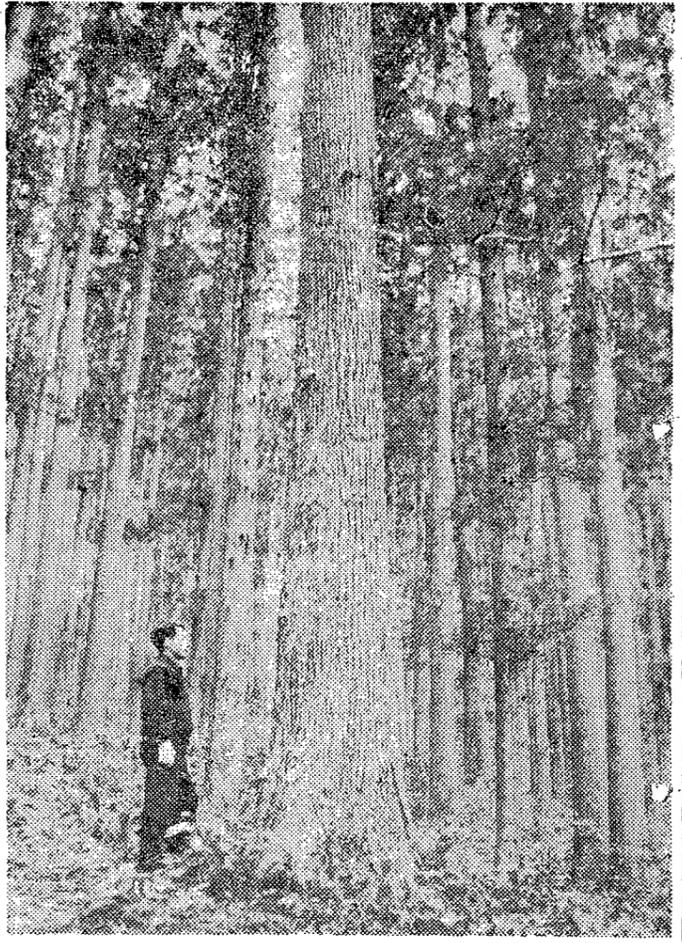
かつては豊富な森林資源を誇った本県の山々も、戦時による乱伐のため森林面積の一割近くが裸山となった。つまり昭和十六年には六千四百町歩だった造林面積は、二十一年末には三万六千六百町歩に増加、しかも造林費の低下からますます造林が増える傾向を示した。この影響は毎年のように相次ぐ水害となって、たちまち現れたのである。

県では、この対策として昭和二十二年に造林六カ年計画を樹てる一方、県民あげて緑化運動の強力な推進に乗り出し、造林費の向上、造林補助金の増額、学校植林の奨励、県営苗圃の開設など、一連の緑化政策をすすめてきた結果、苗木生産の増加と相まって、計画造林は全国でも稀なくらい快速調に進捗、二十九年に至って、さしも膨大な造林地を全部解消することに成功した。

昭和二十二年に樹立した造林六カ年計画は、二十六年度に十カ年計画に改められたが、昨年度を目的達成したため、今年度から順に政府の総合経済計画に基く六カ年計画に更新された。この計画によると毎年伐採した山は翌春再造林するほか竹林や不良森林を人工造林地に転換するため、年々一万二千町歩ずつの植林することになっている。



発行所
和歌山市小松原通1丁目
和歌山県
毎月1回 1日印刷発行
1部 2円50銭



この苗木 家建つ 国立つ 水禍たつ

自 2月20日 至 3月31日

緑の羽根募金

に協力しましょう

3月7日から13日まで

春の火災予防週間

燃えない工夫 焼かない注意
誰でも知ってる火の用心を忘れず
に大小火災を絶滅しましょう

有田版

植える 育てる 郷土も伸びる

満場うつとりに 華やかに改善衣裳シヨウ

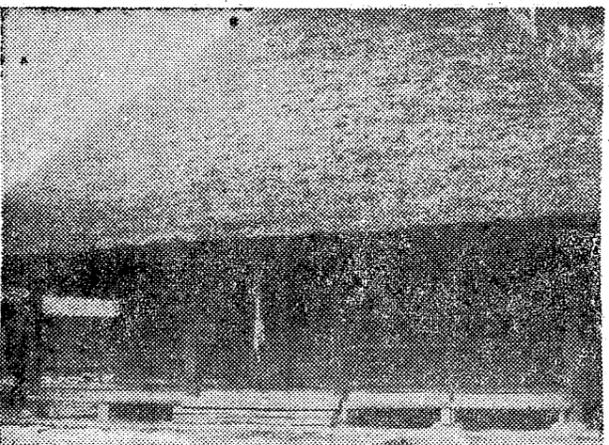
郡生活改善委員会主催の「改善衣裳シヨウ」は、二月四日、小野町を会場として、湯浅中学校講堂で開かれた。...

競獵大会好成绩

有田町の競獵大会は、二月十九日、湯浅中学校講堂で開かれた。...

重要文化財めぐり

有田町内には、重要文化財として指定されたものが数多くある。...



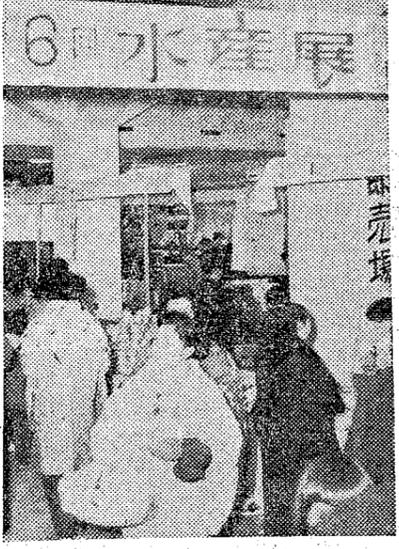
栗生の薬師堂

栗生の薬師堂は、古くから知られる名刹である。...

県傷痍軍人大会

県傷痍軍人大会は、湯浅町を会場として開催された。...

ずらりと海の幸 第六回水産展



第六回水産展は、湯浅町を会場として開催された。...

町村合併 郡内で六番目

湯浅町と田栖川町の合併は、郡内で六番目に完了した。...

移民問題の論

日本海外協会では、移民問題に関する論議が行われている。...

文を懸賞募集

日本海外協会では、文藝作品の懸賞募集を行っている。...

紀文祭も計画

湯浅町では、紀文祭の開催が計画されている。...

月末に公衛研究会

湯浅町では、月末に公衆衛生研究会を開催する。...

三月の酪農「よみ」

三月は酪農の重要な時期である。...

三月の酪農「よみ」に関する詳細な情報とアドバイス。...

酪農に関するその他の情報とニュース。...

酪農に関するその他の情報とニュース。...

酪農に関するその他の情報とニュース。...

酪農に関するその他の情報とニュース。...

3月 県営けいりん 16 17 18 金 土 日 19 20 21 月 火 水 発売 12時

3月に多い盗難 戸ごまり 身ごまり 心のごまり 昨年3月の盗難は995件で年間最高でした。...

自衛官募集 格...18才以上25才未満(昭和31年7月1日現在)の男子 員...二等陸士 9000名 二等海士 700名 二等空士 200名...

西牟婁田辺版

◆緑化運動◆
植える
育てる
郷土も伸びる

被害を最小限度に 富田川の地 岩崎樋門から着工

田辺河川沿線の被害を受け、一部計画を変更するなど、難航を極めた富田川沿岸地盤変動対策事業もいよいよ本年度から承認され、朝来村大字岩崎馬川下流の岩崎樋門工事から着工した。

昭和二十一年末の南海大震災以来、本県の海岸線全般にわたって地盤変動現象を生じ、農地関係でも被害も排水不良などによる被害が増加してきた。富田川沿岸の岩田、朝来、生島、北富田四方村の耕地三百四十一町歩を含む本地区でも、ますます排水状況が悪くなり、年々農作物の被害が大きくなり、富田川改修工事と併行して地区内耕地の排水改良計画を立て、排水樋門の新設や排水路の改修などを行い、洪水時の洪水時間を短縮するべく、その水深を確保する。

山村の営農改善へ 気候、土質も適す茶の栽培

山間部農家の営農改善についていよいよ研究されているが、郡内では早くから育成していた茶が限定される。従って海岸地帯や平地地帯に比べて、その対策を講ずることは、なかなかむずかしい。そこで県では、この一つの方策として茶の栽培に着目し、四年前に茶の原産地を栗栖川、三川、三野、近野の四方村に調査し、その土質、気候、排水状況などを調査し、その結果、茶の栽培に適していることがわかった。

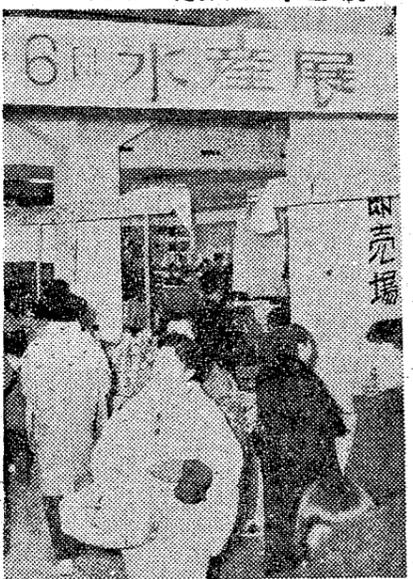


本年度は単木の制約もあって秋津川、長野、栗栖川、三川、近野、富田、三野、朝来の八ヶ村で約五町歩に十本を定植する。この原産地は栗栖川の支流で、土質が良く、土壌も気候条件などが当地に適合している。

三年後が楽しみ
イセエビの放流始まる

毎年行われているイセエビの放流は、今年も田辺川中流の放流の準備が、約三百三十万尾を放流する計画を立て、三月十日から放流が始まる。これはイセエビの増殖を促進し、漁獲量の増加を期している。放流されるイセエビは、毎年一月中旬から五月中旬にかけてのイセエビを放流する。

ずらりと海の幸 にぎわった第六回水産展



命をかけた漁業の発展、また和歌山の豊かな水産資源の恵みを受け、旧正月と相俟って人出はものすごい。即売店は大人気な行列であった。

また、県が募集した観光写真展も、県民の関心を引いた。展覧会も同時に開催されたが、本紙二月、二月廿日紹介した入賞作品は特に人目を引いていた。

誘致へ猛運動 田辺 有望視される木材糖化工場

時代の寵児である合成繊維工業と木材、有望視されている木材糖化の工業化は、数年来関係各方面で研究されてきたが、いよいよ工場建設の段階に達し、本県にも工場誘致の機運が高まっている。

田辺市では文里と内之浦の二地区を候補地に挙げ、市当局を始め関係方面の協力を得て、糖化工場誘致対策委員会を組織し、本格的に誘致運動へ乗り出した。

やけ山へ飼料 白浜開港株式会社は白浜町平

白浜開港株式会社は白浜町平草原の開墾地帯にやけ山のやけ山五町歩に、事業費二十五万円（県費補助十五万円）で、ナシ、アカシヤ、イタチヤ、ヤマハンの木などの肥料木を植えて、これを種畜場へ採草放牧地とする計画に乗り出した。

余病併発に注意 流行期に入ったハシカ

発疹が内攻するときは肺炎、喉痛、鼻出血、血行注射など、カタル期になるとシヤミヤ鼻水が出る。発疹期には顔面、手足、全身に発疹が出る。この時期には、特に注意を要する。

ハシカは、流行期に入ると、発疹が内攻するときは肺炎、喉痛、鼻出血、血行注射など、カタル期になるとシヤミヤ鼻水が出る。発疹期には顔面、手足、全身に発疹が出る。この時期には、特に注意を要する。

鬼頭氏に功績章 全国消防協会では本消防団長

全国消防協会では本消防団長鬼頭一郎氏に功績章を、日置町消防団に功績章を、それぞれ授与することになった。

鬼頭氏は三十二年間に一貫して消防人として活動し、郷土の防災に貢献した功績が認められた。

移民問題の論 文を懸賞募集

日本海外協会連合会では、日本の若い世代に海外移住問題に関する興味と知識を喚起し、多岐にわたる問題の解決を期して、海外移住問題に関する論文を募集することになった。

募集期間は三月十五日まで。応募資格は、中学生以上。賞金は、一等（約五万円）、二等（約三万円）、三等（約二万円）。

鬼頭氏に功績章 全国消防協会では本消防団長

全国消防協会では本消防団長鬼頭一郎氏に功績章を、日置町消防団に功績章を、それぞれ授与することになった。

鬼頭氏は三十二年間に一貫して消防人として活動し、郷土の防災に貢献した功績が認められた。

3月
県営けいりん
16 17 18
金 土 日
19 20 21
月 火 水
発走 12時

3月に多い盗難
かじまり
身じまり
心のじまり

昨年3月の窃盗は995件で年間最高でした。外出のときはかじまりを厳重に、また近所へ頼んでおきましょう

自衛官募集

資格…18才以上25才未満（昭和31年7月1日現在）の男子
員数…二等陸士 9000名 二等海士 700名 二等空士 200名
試験…4月25日から5月7日までのうち1日の予定、筆記試験（国語、数学、社会）身体検査、口述試験を行う
入隊…陸士は7月から8月、海士は8月以降逐次、空士は7月以降逐次
願書受付…3月20日から4月16日まで
その他…詳細は市町村役場へ

